

夢窓幼稚園通信第42号

2024年 10月 2日

休日の朝一番にすることは、「やることわくわく一覧」のリストを作ることです。

並んで待っている仕事は15-16、はじめに記されますが、できるだけ心をこめて向かえるようにリストに「わくわく」の名前を加えるのです。

毎日の営みを人生のドラマであるとするなら、ひとつひとつの舞台での演技手は、他なるない「私」ですが、シナリオライターも演出家も同時に私自身なのでしよう。

どのように作品化していくのか、舞台をデザインしていくのか 手探りで進めていきます。

時に慎重に、ときに大胆に、ある時はあえぎ、憂い、別のときは朗らかに、のどかに...

いずれにしても できる限り すがすがしくありたいと願います。

何と美しい夕焼けなのでしよう!

我に返り、リストに「夕焼けに立ち合う」と追加して 處に出でしはし過します。

月を同じ時に見ている人がいるように、どこかで今この夕焼けを眺めている誰かがいるのだな!

と思います。

「私」の人生ドラマは、たくさんの人たちの様々なドラマと重なり合う総合舞台なのかもしれません。

リストに「早く眠り いい夢を見る」と追記しました。

そんな風に 夢をも 共有して、世界を一日々の生活をつむぎ合っているのかもしれません。

この秋をわくわく爽やかに、共にデザインしながら 過ごしていけますように!

園長 弁光 泰雄